



安里まさえの議会報告

岡垣町商工会青年部の呼びかけで、不要なマスクを回収する取り組みが行われました。現在 150 枚集まっています。もう少し集まったら「母の家」に寄付される予定です。

国の政治も
町の政治も



生活者の視点が大事！

6月議会の気になる議案 6月10日～17日

新型コロナウイルス感染症に関する補正予算

町の自主財源の1億9740万円を特別給付金、経営継続支援、学校再開のための支援などの議案に賛成しました。

子ども家庭支援員を新設



子ども家庭支援員は問題を抱えた家庭と制度を繋ぐ役割があります。令和2年4月から子ども家庭支援員が子育てあんしん課に新設されました。

新型コロナウイルス感染症による3ヶ月に及ぶ休校の影響は子どもたちにとって大きかったと思います。学校が再開したら新しい生活様式と詰め込み型の教育に子どもたちは疲れを感じています。子どもの心を包むスクールカウンセラーや、子どもの学校生活に必要な手助けをするスクールサポーターと子ども家庭支援員、それぞれの立場から多面的に子どもたちを見守る体制を整えられました。

安心して学校に行き、楽しく学び、のびのびと遊ぶ事ができるように点ではなく、面で子どもたちをサポートしてほしいと思います。そして、必要があれば、すみやかに増員をして欲しいと求めています。

議案の大部分が新型コロナウイルス感染症に関連する補正予算でした。

税条例の改正



ここ数年、税制改正を前に、婚姻によらないで生まれた子を持つ未婚のひとり親を**寡婦(寡夫)控除**の対象に加えてほしいとの要望が全国的にあがっていました。

今回、未婚のひとり親に対して、令和2年分以後の所得税から、**既存の寡婦(夫)控除を適用する**見直しが行われ、それに伴い、岡垣町税条例の一部が令和2年10月から改正されることになりました。大人が1人しかいない世帯の貧困率が50.8%にも及び、ひとり親世帯への支援が急務となっていました。

ひとり親について、婚姻歴や性別によらない「ひとり親控除」が創設され、貧困率の高いひとり親家庭の税負担の軽減が実現します。やっと税条例が時代に追いついてきたように感じた議案でした。

「寡婦控除」の改正を機に、民法、税制、社会保障などさまざまな制度について、多様な家族のあり方を認めるように見直す時期にきているのではないのでしょうか。

ホッと♡ひといき

カタカナ用語が多く、理解しがたいと言われる。

新型コロナウイルスが広がると一層蔓延した。ロックダウン・パンデミック・エビデンス・・・特にカイロ大学を上席で卒業している都知事さんは、それを多用する。

学業不良の吾輩には、意味不明でなかなか理解しがたい。多くの方が、特に高齢者はそうではないかと思うのは失礼か。...

同じカタカナでも、亡国首相関係の「アベノミクス」(安倍の微笑)「アベノマスク(260億円)」「アベノリスク(安倍は危険)」は笑えるし、納得する。

多くの高齢者が理解できるよう「真摯に・丁寧に・寄り添って」発信して欲しいものである。



ネット・岡垣の



サポーター募集中！

☆活動カンパ(年間1500円)のお願いです！

ネットワーク・岡垣では皆様からのカンパやボランティアに支えられて調査活動や学習会を行っています。

年間1,500円の活動カンパのご協力をお願いしています。無理のない範囲でご支援いただければ嬉しいです。

☆ニュース配布ボランティア募集中！

岡垣町の皆様に情報を発信するため、ネットワークニュースを年4回発行しています。ご近所に配布してくださる方、募集中です。少ない数でも良いのでぜひご連絡ください。

郵便はがき

宗像局
承認
1377

8 1 1 4 2 9 0

遠賀郡岡垣町東松原

1丁目5-2

ふくおか市民政治

ネットワーク・岡垣内

岡垣町議会議員

安里 まさえと

ずっと住みたいまちをつくる会 行



差出有効期間
2021年1月
16日まで

〔切手を貼らずに
お出しください〕